

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	外国語 1
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科 コンサート・イベント科 音響芸術科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2 単位	授業形態	講義		
教科書/教材	毎回、資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	江原 直子		実務経験の有無・職種	有・英語、英会話教師	
学習目的					
近年ますます重要になる英会話能力を育てるため、基礎文法を復習し、理解した上で実際にそれを使いこなせるようにスピーキングの練習を多く設けてコミュニケーション力を養う。コンサートやイベント等で基本的な英会話ができるようになる。					
到達目標					
➤ 英語の基礎構造を理解し今までに培った文法力、語彙力を基に、実際に日常の中で使える。 ➤ 日常生活での出来事を伝える、まとめて文章にすることができる。 ➤ コンサートやイベントで実際に使う英会話を練習し、現場にて英語で対応することが出来る。 ➤ 英語に対しての興味関心が高まる。					
教育方法等					
授業概要	英語の構造や文法の全体像を理解し、実際に日ごろ目にする写真や絵を用いて英語をアウトプットする練習を多く行い、英文法の定着を促します。パートナー練習、グループ練習も含めながら英語での会話を練習し、様々な場面で話せる力が育まれるように実践練習を重ねる。前期のまとめには、プレゼンテーションを各自行い、自分のことや身の回りの事柄に関して簡単に話せる力をつける。				
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	40%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	0%			
	成果発表表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	be動詞、名詞、冠詞		be動詞への理解を深め、名詞の種類とそれぞれの冠詞のつけ方を理解した上で使いこなせる。		
2回	人称代名詞、場所を表す前置詞		人称代名詞の主格と所有格の用法を定着させ、人や場所に関する受け答えを行える。		
3回	数の表し方、時間の前置詞		買い物の場面で使える英語や大きな数の表し方を習得する。時間に関する受け答えを習得する。		
4回	形容詞		もの、人や食べ物などの状況に関しての質問と答えを話せる。		
5回	Yes・No 疑問文/ 所有代名詞		第1回から第4回までの授業で学習した内容をYes・No疑問文の形で練習し、習得する。		
6回	比較級		比較級を用いた受け答えを習得する。		
7回	数量を表す副詞		可算名詞と不可算名詞の用法の違いに注意しながら数量を尋ねる受け答えを習得する。		
8回	プレゼンテーション		第1回から第7回までに習得した内容を用いて、簡単なプレゼンテーションを行える。		
9回	方向を表す前置詞、現在進行形		動詞の活用の重要性和日本語との違いを理解し動詞の現在進行形を使った受け答えを習得する。		
10回	過去形		動詞の過去形を使った受け答えを習得する。		
11回	未来形、助動詞		助動詞 "will","can","should"を使った受け答えを習得する。		
12回	現在形		動詞の現在形の用法と日本語との違いを理解し、それを使った受け答えを習得する。		
13回	不定詞 / 動詞活用テスト		不定詞を使った表現を習得する。第9回から第12回までに習得した動詞の活用をスムーズに行える。		
14回	前期のまとめプレゼンテーション		前期に習得した内容を使ってプレゼンテーションを行える。		
15回	前期のまとめプレゼンテーション		前期に習得した内容を使ってプレゼンテーションを行える。		